

Symposium

## Symposium 6 (II-S06)

### Treatment strategy for failed Fontan

Chair:Hajime Ichikawa(Pediatric Cardiovascular Surgery,National Cerebrand Cardiovascular Center, Japan)

Chair:Takashi Higaki(Department of Regional Pediatrics and Perinatology Ehime University Graduate School of Medicine)

Sat. Jul 8, 2017 1:50 PM - 3:35 PM ROOM 1 (Exhibition and Event Hall Room 1)

1:50 PM - 3:35 PM

### [II-S06-05]Failing Fontan hemodynamic phenotype and its managements

○大内 秀雄<sup>1</sup>, 市川 肇<sup>2</sup> (1.国立循環器病研究センター 小児循環器, 2.国立循環器病研究センター 小児心臓外科)

Fontan術後成績の向上に伴い、その長期予後改善と QOL向上が臨床上の大きな課題となってきた。また、Fontan術後遠隔期の血行動態破綻は failing Fontanの主要な臨床上の phenotypeの一つである。しかし、難治性不整脈の合併や、最近では、心臓以外の臓器障害も failing Fontanの phenotypeの一つであることから failing Fontanの定義はより複雑で曖昧である。従って、その対処法も確立させていないのが現状と言える。そこで、今回は Fontan患者の血行動態の failingに着目し、その特徴を明らかとすることで、その failing hemodynamicsの対処について議論したい。従来よりフォンタン循環の特色は高い中心静脈圧 (CVP) と低い心拍出量 (CO) とされ、さらに軽度の低い動脈酸素飽和度 (SaO<sub>2</sub>) (低酸素血症) である。一般には、これらの特徴の極端な異常、即ち、極端に高い CVP、低い CO、そして低酸素血症のいずれかを合併した場合、failing Fontan circulationに分類される。この循環の特徴は高 CVPで低 COの心不全 (heart failure: HF) と言える (HF with high CVP and low CO: H-CVP-HF c L-CO)。これらの各要因 (CVP、CO、SaO<sub>2</sub>) に対し様々な病態が関与することから、この failingに対する対処法は一様でない。更に、最近我々は、特に成人期に、不適切に体血管抵抗が低下することによる高い CO由来の高 CVPを示す failing hemodynamic phenotype (HF with high CVP and high CO: H-CVP-HF c H-CO) の存在を示した。この新たな病態が従来の HF with high CVP and low CO より重症で予後が不良であることを示した。この病態の詳細とその対応はまだ確立していない。今回のシンポジウムではこれら failing hemodynamic phenotypeから見たその治療と管理法について議論したい。